

重点目標一覧表

担当部局名 真田地域自治センター

【令和5年度重点目標】

重点目標	「菅平高原」ブランドを生かした魅力発信
具体的な重点取組項目（箇条書き）	
達成状況・達成度	
① 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 安全性・快適性の向上を目指したサニアパーク菅平の施設整備 (2) 菅平高原国際リゾートセンターの長寿命化に向けた改修整備	① (1) 11/26に公認検定を実施、11/29に日本陸上競技連盟から第3種陸上競技場として公認 (2) 12/15に竣工し、12/22に検査完了。屋根の全面改修と地下階段の防水改修を施工し漏水解消
② 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) サニアパーク菅平、菅平高原アリーナにおけるネーミングライツの実施 (2) 菅平高原観光施設の指定管理検討	② (1) 2/8 アンダーアーマー日本総代理店である榊ドームとネーミングライツ契約を締結 (2) 類似施設の指定管理による運営状況等の情報収集
③ 菅平高原アリーナの利用促進 (1) 利用促進イベントの開催 (2) ホームページ等を活用したPR (3) 利用団体数、使用料収入の対コロナ禍以前比増	③ (1) 9月10日にラグビーワールドカップパブリックビューイングを開催 (2) 施設の予約情報やネーミングライツ契約等についてPR (3) 利用団体690団体・使用料収入5,035,190円
④ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性の協議 (2) 展示品・所蔵品の利活用の検討	④ (1) 地元の意向確認に向けた再アンケート調査票の作成準備 (2) 写真と対比できる展示品・所蔵品一覧リストを作成

【令和6年度重点目標】

重点目標	市民が主役「心豊かな協働のまちづくり」の推進
具体的な重点取組項目（箇条書き）	
期限・数値目標等	
① 地域全体で作る安心・安全デジタルネットワーク (1) 地域内のデジタル化推進事業 ・ 地域内デジタル化事業の説明会開催 ・ 自治会専用グループの活用支援 ・ はれラジ連携による地域への情報配信 ・ デジタル活用による定期送達書類軽減化推進 (2) 地域関係課等のデジタル活用推進 ・ 真田地域関係課等との活用方針調整 ・ 公民館スマホ講習事業との連携 ・ 各担当課自治会宛て文書等のデジタル化推進 (3) デジタル化事業を活用した緊急時における情報伝達の構築	① (1) ・ 自治会会議開催（36回） ・ 自治会用グループの設置支援 ・ はれラジとの番組協議（6回） ・ 電子定期送達12回配信 (2) ・ 担当者会議開催 ・ 事業連携（2回） ・ 様式データ、電子申請マニュアル作成 (3) 危機管理防災課との連絡・調整（通年）
② 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) まちづくりに活用できる情報の提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有	② (1) 地域づくり委員会での情報提供（8月まで） (2) 関係課等へ課題の情報提供と対応依頼（通年）
③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有	③ (1) センターだより、会報「さなぎ」配布（通年） (2) 地域課題の情報共有（通年）

重点目標 市民が主役「心豊かな協働のまちづくり」の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
達成状況・達成度	
① 地域づくり委員会との協働によるまちづくり (1) まちづくりに活用できる情報の提供 (2) 地域課題の把握と関係課との情報共有	① 全36自治会で地域づくり委員会を開催（7月～8月） (1) 各課の取組、補助制度などの支援策を情報提供（8月に自治会回覧:36自治会、回覧数492） (2) まとめられた地域課題や要望等は庁内各課に対応依頼及び情報共有（8月）、地域課題（空家等）の解決につなげる取組（3月）
② 地域全体で作る安心・安全情報ネットワーク (1) 地域内の情報ネットワークの活性化 ・ 地域内情報ネットワーク構築の事例紹介 ・ 自治会長専用SNSの活用 ・ 自治会内情報伝達網の構築支援 (2) 地域のデジタル化の推進 ・ 地域のデジタル化推進の広報・支援活動 ・ 一人暮らしの高齢者等への情報伝達の検討 ・ 公民館スマホ講習事業との連携 ・ デジタル活用による自治会長業務の軽減化	② ・ センターだより、地域協議会等で紹介（5回） ・ 広報の電子配布及び災害注意情報などの配信（29回） ・ 自治会相談支援（補助事業1件、出張相談4件、窓口相談随時） ・ 関係課との打合せ（5回）、民生児童委員協議会への提案（7月）、事業者との意見交換（11月、2月） ・ スマホ講座の連携（開催数5回） ・ 申請様式データをホームページ掲出と電子申請化（12月、1月、2月）
③ 住民自治組織「真田の郷まちづくり推進会議」への支援 (1) 地域住民への活動周知 (2) 地域づくり委員会から把握した課題等の共有	③ (1) 自治センターだより（7月、9月）、会報「さなぎ」（5月、9月、11月）、自治会回覧による参加告知協力（随時） (2) 地域づくり委員会の地域課題や要望等を推進会議へ提供（10月）

重点目標 多彩な地域資源を生かした魅力発信

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
期限・数値目標等	
① 「スポーツ合宿の聖地 菅平高原」の魅力アップに向けた施策の推進 (1) ネーミングライツパートナーとの協働による各種施策の推進（アンダーアーマー菅平サニアパーク・アンダーアーマー菅平アリーナ） (2) ホームページ・SNSを活用したPR (3) 菅平高原スポーツ施設の指定管理検討	① (1) 榊ドームと観光協会をはじめとする地元との連携を強化し、各種事業を推進（年度内） (2) 利用促進に向けた情報発信（年度内） (3) ネーミングライツ契約の継続も見据え指定管理の在り方を検討（年度内）
② 菅平地区観光施設の安全性と快適性、長寿命化に向けた改修整備 (1) 2028年国民スポーツ大会開催に向けて安全性・快適性の向上を目指したアンダーアーマー菅平サニアパークの施設整備 (2) 菅平高原国際リゾートセンターの長寿命化に向けた改修整備	② (1) メインランド擁壁改修工事（12月） (2) 地下貯蔵タンクの改修工事（年度内）
③ 菅平高原自然館の今後の方針策定 (1) 今後の方向性の協議 (2) 展示品・所蔵品の利活用の検討	③ (1) 関係団体等との協議（年度内） (2) 展示品・所蔵品の整理（年度内）
④ シビックプライドの醸成に向けたイベントの開催 (1) 真田まつりの開催 (2) 真田氏歴史館企画展の開催	④ (1) 第40回を記念した新規イベントの実施（8月） (2) 真田信綱・昌輝公没後450年特別企画展の開催（7月～8月）
⑤ ダボス町との姉妹都市交流の推進 (1) 菅平高原関係者との協議 (2) 記念行事に向けた事前訪問事業の実施	⑤ (1) 提携50周年記念事業に向けた連絡・調整（通年） (2) ダボス町理事者の日程に合わせて市長訪問事業の実施（年度内）

重点目標 地域に寄り添った窓口対応の充実

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
達成状況・達成度	
① 窓口対応等の充実 (1) 来庁者の用件を速やかに聞き取り、的確・迅速・円滑な事務処理を行うとともに、来庁者に寄り添って親切・丁寧で親しみの持てる対応を心掛け、苦情・苦言のない窓口を目指す。 (2) 業務に必要な各種研修へ積極的に参加し、知識の習得に努める。併せて接客マナーや接遇などの教育や意識啓発に努め、窓口を担うにふさわしい人材を育成する。（接客態度、言葉遣い等） (3) 職員同士が声を掛け合うなど、窓口で対応している職員を支援し、課が一体となって窓口サービスを展開する。	① (1) 情報共有（スローガン設定（10回）、課長係長会議（12回）） ・ 係ごとに取組状況や課題等の話し合い及び課長係長会議で課題等の改善案を検討し、課僚へフィードバックを行ってきた結果、昨年に比べ苦情が減少した。 (2) 業務に関する研修（46回）、接遇に関する研修（10回） ・ 正規職員、会計年度職員問わず、業務遂行及び人材育成に関する研修に参加し、知識の習得と接遇力の向上を図った。 (3) 職員同士で声を掛け合い、係や担当を越えて協力・連携することで混雑時でも迅速に対応することができるようになった。 ・ 待ち時間の短縮や苦情の減少など窓口の対応力が向上した。

重点目標 真田地域の拠点となる多目的施設整備の推進

具体的な重点取組項目（箇条書き）	
期限・数値目標等	
① 防災福祉多目的機能拠点設置事業への取組 (1) 福祉分野（障がい者、高齢者、ボランティア等）で必要となる機能の検討 (2) 真田総合福祉センター周辺の公共施設整備計画との調整 (3) 防災対策拠点や多目的用途としての将来に向けた施設のあり方及び財源の検討 (4) 地域協議会等、地域住民との協議	① (1) 関係課等との協議（3回） (2) 各施設の将来計画一覧作成（年度内） (3) あり方骨子（案）の作成（年度内） (4) 調査研究分科会の実施（通年）

重点目標一覧表

担当部局名 真田地域自治センター

【令和5年度重点目標】

【令和6年度重点目標】

重点目標	真田地域の社会福祉拠点となる施設整備の推進		重点目標	地域の特性を生かした農業の振興	
	具体的な重点取組項目（箇条書き）	達成状況・達成度		具体的な重点取組項目（箇条書き）	期限・数値目標等
4	① 真田地域の社会福祉拠点となる施設整備に向けた取組 (1) 老朽化した真田総合福祉センターと真田老人福祉センターを統合する施設整備の検討	① (1) 関係課との協議（7月、3月）、地域協議会による現地視察（7月）、社会福祉基金の活用を福祉部・各地域自治センター市民サービス課等で協議（8月）、両施設利用者実績の精査（12月）	4	① 多様な担い手の確保・育成 (1) 新規就農者への支援 (2) 農福連携の推進	① (1) 関係機関と連携した認定新規就農者（3人）への支援（年度内） (2) 収穫作業委託 2件（年度内）
	(2) 周辺の公共施設（真田体育館）との調整	(2) 周辺の施設所管課との協議（8月真田教育事務所）施設の現状の課題や個別施設計画等との位置づけの確認等（8月、9月）		② 遊休荒廃農地対策 (1) 地域おこし協力隊員を中心とした農業体験の充実 (2) 特産果樹の新品種の普及促進	② (1) 野菜作り体験（8組）及び米塾（5名）の開催（年度内） (2) ヘーゼルナッツの苗木幹旋 100本（年度内）
	(3) 災害時の広域的避難所や防災対策拠点としての活用の検討	(3) 福祉・高齢者の拠点としての機能や災害面での自治センターの課題、周辺施設の避難所としてのあり方や財源等研究（9月、2月）		(3) 遊休農地の発生防止及び解消に向けた取組の推進	(3) 貸出希望農地の担い手への農地集積 1ha（年度内）
	(4) 地域協議会、住民自治組織等との協議	(4) 地域協議会による現地視察及び意見聴取（7月、2月、3月）次期地域協議会の協議案件とすることを決定		③ 地域農業の魅力発信 (1) ゆきむら夢工房からの情報発信 (2) 賑わいのある新そばまつりの開催	③ (1) 夢工房だより・ホームページやメール配信を活用した情報発信（通年） (2) 第30回を記念した新そばまつりの開催（来場者数：1,500人）（11月）
			④ 農林産物展示販売施設の今後の方針検討 (1) 施設の利活用の検討	④ (1) トライアル・サウンディングの実施（年度内）	